

平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-01		
施設名	ふるさと文化館				
所在地	南千住六丁目63番1号（南千住図書館併設）				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成9年	3,600,000	国・都	0
	増改築①			区債	0
	増改築②			一般財源	3,600,000
併設施設					
竣工年月日	平成10年5月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成10年5月1日		職員数	10人	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		2723.96㎡		
	延床面積		2584.59㎡		
設置目的・経緯	区民の生涯学習の振興並びに荒川区における教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立荒川ふるさと文化館条例				
駐車場の状況	8台	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	①荒川区の考古、歴史、民俗等資料の収集及び保存②常設展示及び特別展示事業（企画展等）③資料の専門的な調査研究④文化財の保存及び活用⑤郷土学習のレファレンス（資料紹介や学習アドバイス、団体見学対応等）⑥教育、学術及び文化の振興に関する事業（各種講座）⑦伝統技術の保護と育成（荒川学校職人教室、伝統技術展、荒川区伝統工芸技術継承者育成事業、伝統工芸ギャラリーの運営等）					
対象者	区民全般・荒川ふるさと文化館利用者等					
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）				
	休日	月曜日（祝日、振替休日の場合は翌日）、毎月第2木曜日、年末年始（12月29日～1月4日）、館内整理日				
施設基本データ等	観覧者数（有料）（人）	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込み）
	観覧者数（無料）（人）	3,370	4,288	3,192	2,914	3,000
	観覧者 合計（人）	13,186	13,369	12,338	15,441	20,000
	郷土学習室利用者（人）	16,556	17,657	15,530	18,355	23,000
	伝統工芸ギャラリー入場者（人）	4,215	5,365	3,555	-	-
	視聴覚室（件）	-	-	-	21,245	25,000
	研修室（件）	18	20	14	9	20
	開館日数（日）	23	30	22	24	30
備考	郷土学習室は、平成28年度まで実施。あらかわ伝統工芸ギャラリーは、平成29年度5月から開設した。					

III 財務諸表

(単位:千円)

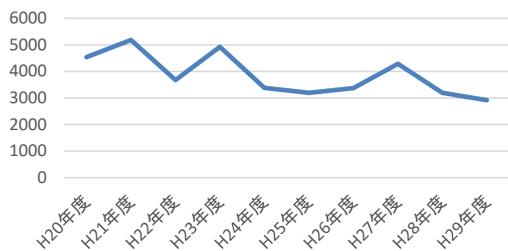
行政コスト計算書	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	給与関係費	56,333	54,135	▲ 2,198	地方税等	0	0	0	
	物件費	64,253	48,729	▲ 15,524	国庫支出金	1,012	1,250	238	
	維持補修費	2,396	3,232	836	都支支出金	506	2,160	1,654	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	19,278	21,043	1,765	使用料及び手数料	408	365	▲ 43	
	減価償却費	40,228	40,228	0	その他	346	218	▲ 128	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,272	3,993	1,721	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,136	4,286	2,150	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 182,352	▲ 167,660	14,692	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	184,624	171,653	▲ 12,971	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 182,352	▲ 167,660	14,692	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 182,352	▲ 167,660	14,692		
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,136	2,201	65
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	725,597	685,369	▲ 40,228	賞与引当金	2,136	2,201	65	
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	1,489,932	1,489,932	0	固定負債	25,796	27,347	1,551	
	建物減価償却累計額	▲ 764,335	▲ 804,563	▲ 40,228	特別区債	0	0	0	
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	25,796	27,347	1,551	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	27,932	29,548	1,616	
	建設仮勘定	2,734	2,734	0	正味財産	922,931	884,219	▲ 38,712	
その他の固定資産	222,532	225,664	3,132	正味財産の部合計	922,931	884,219	▲ 38,712		
資産の部合計	950,863	913,767	▲ 37,096	負債及び正味財産の部合計	950,863	913,767	▲ 37,096		
備考	行政費用では物件費が多くかかっている。物件費のうち、大部分を占めるのは施設管理に係る委託料である。平成29年度は、都支支出金の区市町村観光インフラ整備支援補助金1,535千円の収入があり、行政収入が増加した。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	51	54.0	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	71,570	66,414	
	来館者1人当たりコスト(円)	-	-	11,911	9,352	
	開館一日当たりコスト(円)	-	-	8,408,077	7,152,208	
備考	利用者1人当たりコストが前年度と比較して、人件費が要因で6,185円下がっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)	
	観覧者数(人)	目標値	-	-	-	18,500	
		実績値	16,556	17,657	15,530	18,355	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()						
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	<p>○経年劣化により建物全体の修繕箇所が増えてきており、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に修繕を行っていく必要がある。</p> <p>○あらかわ伝統工芸ギャラリーの整備を契機に、さらなる施設来館者及び事業参加者数の増加に向けた事業や周知策を行う必要がある。</p> <p>○奥の細道に関する特設コーナー設置や、荒川ふるさと文化館の名称変更等を検討する必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○あらかわ伝統工芸ギャラリーや各種事業のPRを強化し、荒川区の伝統文化の魅力を区内外に広く発信し、施設来館者や事業参加者の増加につなげていく。</p> <p>○併設の南千住図書館と協力し、計画的に事業の運営・修繕等を行っていく。</p>						
議会、利用者等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度2月会議 荒川ふるさと文化館のあり方について ・平成29年2月予特 奥の細道の常設展示について 						

観覧者数(有料)(人)



観覧者数(無料)(人)



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-02		
施設名	生涯学習センター				
所在地	荒川三丁目49番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年			
	増改築①	平成8年	303,300		
増改築②					
併設施設	教育センター				
竣工年月日	昭和45年		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成9年	職員数	14	7	
構造	R C造	階層	4階		
面積	敷地面積	6,766.09㎡			
	延床面積	2,970.35㎡ (4530.36㎡のうち) ㎡			
設置目的・経緯	区民の生涯にわたる学習の場の提供や講座の開催、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。				
関連部署	文化交流推進課、教育委員会事務局指導室、福祉部高齢者福祉課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立生涯学習センター条例・施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)読売・日本テレビ文化センター	期間	平成30年度 平成35年度	から まで	
事業内容	区民カレッジ、サークル活動の支援、学習活動の相談、生涯学習情報提供、IT学習・専修学校公開講座					
対象者	一般区民					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	利用者数(人)	174,090	170,758	156,441	137,572	150,000
	利用件数(件)	7,350	7,344	7,283	7,517	8,000
	区民カレッジ講座数	54	51	61	66	65
	区民カレッジ受講者数	3,921	3,853	3,688	4,053	4,100
	IT講習会参加者数	767	716	754	776	800
	IT自習室参加者数	1,893	1,971	1,971	774	900
	貸室稼働率	65	64	64	66	70
に 係 る 管 理 費 用	指定管理料(千円)	62,103	60,940	60,819	61,739	66,374
	指定管理者の支出合計(千円)	63,623	61,149	62,932	63,743	66,574
	指定管理者の人件費(千円)	21,293	19,035	19,903	19,902	22,100
	指定管理者の利用料金収入(千円)	2,148	2,112	1,996	2,088	2,116
備考	平成29年度 PCの入れ替えのため、4月のIT自習室実施なし。また、実施回数を変更し、隔日実施とした。					

III 財務諸表

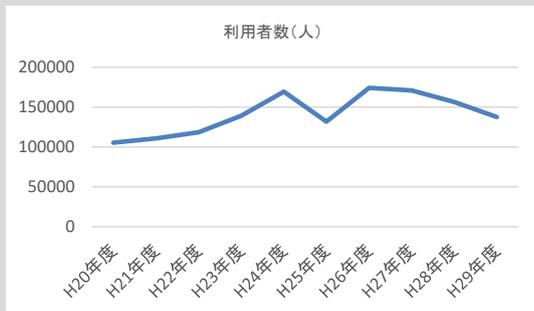
(単位:千円)

	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額		
	行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	0		
物件費			65,025	67,086	2,061	国庫支出金	0	0	0	0	0			
維持補修費			972	594	▲ 378	都支支出金	0	0	0	0	0			
扶助費			0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0			
補助費等			48	48	0	使用料及び手数料	0	0	0	0	0			
減価償却費			0	0	0	その他	454	434	▲ 20	▲ 20	▲ 20			
不納欠損・賞倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)	454	434	▲ 20	▲ 20	▲ 20			
賞与・退職給与引当金繰入額			0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 65,591	▲ 67,294	▲ 1,703	▲ 1,703	▲ 1,703			
その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0			
行政費用合計(b)			66,045	67,728	1,683	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 65,591	▲ 67,294	▲ 1,703	▲ 1,703	▲ 1,703			
特別費用(g)			0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 65,591	▲ 67,294	▲ 1,703	▲ 1,703	▲ 1,703			
貸借対照表	貸借対照表	固定資産	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
			流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0	
			不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0		
			その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0		
			有形固定資産	35,226	35,226	0	賞与引当金	0	0	0	0	0		
			土地	35,226	35,226	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0		
			建物	170,717	170,717	0	固定負債	0	0	0	0	0		
			建物減価償却累計額	▲ 170,717	▲ 170,717	0	特別区債	0	0	0	0	0		
			工作物等	17,800	17,800	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0		
			工作物等減価償却累計額	▲ 17,800	▲ 17,800	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0		
			無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0		
			建設仮勘定	0	0	0	正味財産	39,476	39,476	0	39,476	39,476		
その他の固定資産	4,250	4,250	0	正味財産の部合計	39,476	39,476	0	39,476	39,476					
資産の部合計	39,476	39,476	0	負債及び正味財産の部合計	39,476	39,476	0	39,476	39,476					
備考	行政費用では、指定管理料54,086千円を含む、物件費が多くなっている。また、28年度は多目的室の床改修により972千円、29年度は樹木の伐採作業により594千円、維持補修費がかかっている。													

指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	-	-	100.0	100.0	
1㎡当たりコスト(円)	-	-	14,578	14,950	
人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	32	31.2	
開館1日当たりコスト(円)	-	-	185,520	190,247	
利用者1人当たりコスト(円)	-	-	422	492	
区民1人当たりコスト(円)	-	-	310	316	
受益者負担比率(%)	-	-	3	3.0	
財務指標・評価指標等					
備考	29年度の利用者1人当たりコストが28年度と比較して70円上昇しているが、利用者数の減少等によるものである。				

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用件数	目標値 7,300	7,300	7,300	7,500	8,000
		実績値 7,350	7,344	7,283	7,517	8,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ~平成15年度 直営 平成16・17年度 委託 平成18年度~ 指定管理) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	区民の生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習を推進していく必要性は高い。					
現状・課題	○利用者アンケート等を踏まえて、一層の事業の充実や利用者サービスの向上を図る必要がある。 ○施設・設備の老朽化が進んでおり、生涯学習推進計画施策の柱1「学びの基盤を整備・拡充する」や、荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に改修工事や修繕を行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者に対して、積極的な声掛けを行い、利用者の側に立ったサービスの質を高める。 ○区民カレッジについて、参加者アンケートを参考にしながら、俳句などの荒川区ならではの講座を行う等、さらに内容の充実を図る。 ○利用者アンケートで特に要望が多いトイレ改修については計画的に2箇所を洋式化したところであり、今後も引き続き改修を進め、安全で快適な利用環境を整える。					
議会、利用者等からの意見	<議会> ・平成26年2月予特 多目的広場の大人の利用について <利用者等> ・平成28年度施設利用者アンケート トイレの洋式化について					



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-03		
施設名	町屋文化センター				
所在地	荒川区荒川七丁目20番1号				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和63年	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和63年9月30日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和63年11月1日	職員数	6		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	階層	3階		
面積	敷地面積	4,137.28㎡			
	延床面積	2,400㎡			
設置目的・経緯	多くの区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯教育の推進と地域文化の振興を図る。				
関連部署	文化交流推進課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立町屋文化センター条例、同施行規則、荒川区立町屋文化センターの使用の予約に係る手続き等に関する要綱				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	80台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	カルチャー講座、自主事業（一日文化体験・なないろひろば）等					
対象者	荒川区内在住・在勤・在学者					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、年3回の保守点検日				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	貸室利用者数(人)	183,743	185,624	178,995	182,093	183,000
	貸室ホール稼働率(%)	76	74	76	75	75
	カルチャー講座数(講座)	672	671	659	689	670
	カルチャー講座受講者数(人)	4,784	4,684	4,388	4,388	4,500
	指定管理料(千円)	23,342	24,192	24,257	24,192	24,627
	指定管理者の支出合計(千円)	36,893	37,213	36,886	37,151	38,622
	指定管理者の人件費(千円)	3,480	3,892	3,738	3,695	3,691
指定管理者の利用料金収入(千円)	13,820	14,144	13,929	13,599	13,762	
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

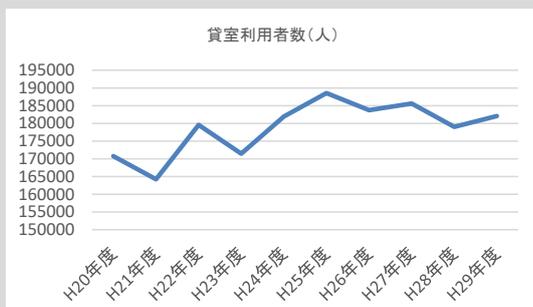
(単位:千円)

		勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	24,782	24,289	▲ 493	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	15,068	15,068	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	18,096	18,096	0	その他	698	770	72
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	698	770	72
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 57,248	▲ 56,683	565
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	57,946	57,453	▲ 493	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 57,248	▲ 56,683	565
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 57,248	▲ 56,683	565		
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	821,439	803,343	▲ 18,096	賞与引当金	0	0	0
		土地	657,907	657,907	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	670,212	670,212	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 506,680	▲ 524,776	▲ 18,096	特別区債	0	0	0
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	821,439	803,343	▲ 18,096
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	821,439	803,343	▲ 18,096		
資産の部合計	821,439	803,343	▲ 18,096	負債及び正味財産の部合計	821,439	803,343	▲ 18,096		
備考	行政費用では、指定管理料として、物件費が多くかかっている。また、イストル町屋管理・修繕費により、補助費等が多くかかっている。								

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	76	78.3	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	24,144	23,939	
	人にかかるコストの割合(%)	-	-	10	10	
	開館1日当たりコスト(円)	-	-	16,277	16,138	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	324	316	
	区民1人当たりコスト(円)	-	-	272	268	
	受益者負担比率(%)	-	-	20	0.0	
備考	29年度来館者数が前年度より増えたため利用者1人当たりコスト(円)が減少した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	利用者数(人)	183,743	185,624	178,995	182,093	183,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○カルチャー講座は、受講者数が28年度から横ばいであるが、受講者ニーズに対応した企画・運営を行う必要がある。 ○開設から30年を経過しており、トイレなどの設備や備品の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕と備品の更新を図る必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○カルチャー講座については、受講者アンケートからニーズを把握し、指定管理者と協議を重ねながら講座の充実を図り、受講者の新規獲得につなげていく。 ○施設の老朽化箇所について、安全性を考慮しながら適切に修繕を行うほか、荒川区公共施設等総合管理計画に基づいた改修を順次進めて、利用者にとって安全で快適な施設を提供する。					
議会、利用者等からの意見	・平成27年2月予特 付帯設備を継続使用した場合の割引制度について ・平成25年9月決特 付帯設備使用料の減額について					



平成30年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-02-04		
施設名	清里高原ロッジ及び清里高原少年自然の家				
所在地	山梨県北杜市高根町清里3545番5				
部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	810,551	国・都	区債	一般財源
	増改築①		199,563	0	610,988
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和58年4月15日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月15日	職員数	7人・2人		
構造	RC造	階層	2階		
面積	敷地面積	32,322㎡			
	延床面積	3,999.96㎡			
設置目的・経緯	区民の健康増進、青少年の健全育成				
関連部署	指導室、学務課				
根拠法令等 設置条例	荒川区立清里高原ロッジ条例、荒川区立清里高原少年自然の家条例、両条例施行規則				
駐車場の状況	約20台	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	ニッコトラスト・東京パワーテクノロジープロジェクト	期間	平成27年度から平成29年度まで		
事業内容	移動教室等の宿泊事業、一般団体及び社会教育関係団体の宿泊、指定管理者自主事業等					
対象者	荒川区内及び山梨県北杜市に在住、在勤、在学する者					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	寒冷地にあるため、11月上旬～4月下旬は閉設。閉設期間は年度により異なる。				
施設基本データ等		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	一般利用者(人)	1,646	1,757	1,657	2,170	2,500
	学校利用者(人)	8,499	6,889	5,467	5,396	5,500
	合計(人)	10,145	8,646	7,124	7,566	8,000
	施設稼働率(%)	35	35	30	31	35
	開所日数	192	190	189	191	191
に 係 る 管 理 費	指定管理料(千円)	52,738	51,015	55,826	56,093	56,784
	指定管理者の支出合計(千円)	77,546	72,139	69,282	77,015	73,734
	指定管理者の人件費(千円)	17,372	17,094	16,028	19,116	20,257
	指定管理者の利用料金収入(千円)	25,291	22,696	18,824	19,083	19,093
備考	学校利用が平成26～28年度にかけて大きく減少しているのは、夏季に教育委員会で実施していた「清里高原学園」が、平成27年度から実施校減少、平成28年度から休止となったためである。なお、一般利用については、区内団体への積極的なPRや指定管理者の自主事業の実施等により、集客努力を図った結果、増加傾向にある。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	行政収支差額	金融収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	73,556	100,329	26,773	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	0	14,580	14,580	0	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	240	192	▲48	0	0	0	0	0	0	0	
	減価償却費	23,435	23,121	▲314	0	0	0	0	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	4,903	4,840	▲63	行政収入合計(a)	4,903	4,840	▲63	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	▲92,328	▲133,382	▲41,054	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲92,328	▲133,382	▲41,054	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	97,231	138,222	40,991	▲92,328	▲133,382	▲41,054	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲92,328	▲133,382	▲41,054	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲92,328	▲133,382	▲41,054		
貸借対照表	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	68,986	46,271	▲22,715	0	0	賞与引当金	0	0	0	
			土地	0	0	0	0		その他の流動負債	0	0	0
			建物	841,289	841,289	0	0	0	固定負債	0	0	0
			建物減価償却累計額	▲772,303	▲795,018	▲22,715	0	0		特別区債	0	0
			工作物等	94,259	94,259	0	0	0		退職給与引当金	0	0
			工作物等減価償却累計額	▲94,259	▲94,259	0	0	0	0	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	建設仮勘定	0	5,832	5,832	0	0	0	0	0	0		
	その他の固定資産	3,824	3,139	▲685	0	0	0	0	0	0		
	資産の部合計	72,810	55,242	▲17,568	72,810	55,242	▲17,568	72,810	55,242	▲17,568		
備考	行政費用では、物件費が多くかかっている。物件費のうち、大部分を占めるのは指定管理委託料である。平成29年度は、維持補修費として14,580千円がかかっているが、これは、直流電源装置・受変電設備改修工事を行ったためである。											

指標		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率	-	-	93	95.1	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	24,308	34,556	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	-	23	24.8	
	開所1日当たりコスト(円)	-	-	514,450	723,675	
	利用者1人当たりコスト(円)	-	-	13,648	18,269	
	受益者負担比率(%)	-	-	17.0	12.6	
	指定管理料(千円)	52,738	51,015	55,826	56,093	
	指定管理者の支出合計(千円)	77,546	72,139	69,282	77,015	
	指定管理者の人員費(千円)	17,372	17,094	16,028	19,116	
	指定管理者の利用料金収入(千円)	25,291	22,696	18,824	20,044	
備考	利用者1人当たりコスト(円)が前年度と比較して4,658円上昇しているが、これは、行政費用の物件費が上昇しているためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
	一般利用者数(人)	目標値 実績値	- 1,646	- 1,757	- 1,657	2,000 2,170
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 委託から指定管理へ) ○ 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○開設から35年が経過し、設備や備品、また施設自体の老朽化が進んでおり、計画的な修繕や備品の更新が必要である。 ○和式トイレが施設全体の4割程度を占め、利用者から洋式化及びウォシュレット設置を求められているため、老朽化した給排水設備の改修と併せて洋式化等を進めていく必要がある。 ○夏期学園休止に伴い、平成27年度以降は学校利用者が減少しており、一般利用や団体利用の新規獲得策を講じる必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、順次、大規模改修や老朽化した設備の修繕や備品の更新を図る必要がある。 ○給排水設備の改修工事と併せてトイレ洋式化及びウォシュレット設置を図り、利用者からのニーズに応じていく。 ○施設の魅力を積極的にPRするとともに、ランニング合宿や農業体験など、清里の環境を活かした自主事業を充実することにより、一般利用や団体利用の促進を図る。					
議会、利用者等からの意見	○平成28年2月予特 通年開設の検討について ○平成27年度6月会議 トイレの洋式化について ○平成29年2月予特 施設を活用した高地トレーニング等の提案について					

